

TAKE FREE
VOL. 36

2025
January

医療法人弘仁会板倉病院 広報誌

いたくら

特集 鼠径ヘルニア

しりぞきながら取りくち

医療法人弘仁会板倉病院広報誌

いたくら | vol.36



医療法人弘仁会
板倉病院



板倉病院 理念

地域に根ざした、信頼される高品質な医療の継続

板倉病院 方針

医の倫理に基づき、すべての患者さまに誠意を持って、最善の医療を公平に行います。都市型中規模病院として、地域に密着した顔の見える関係を目指します。救急医療・予防医療・在宅医療の提供に努めます。医療機関・施設・在宅との連携を密にして、期待に応える医療体制を整備します。職員とその家族までも大切に、ワクワク、イキイキ、ニコニコできる病院を目指します。



板倉病院ホームページ
<https://www.itakura.or.jp>



板倉病院公式Instagram
@ITAKURA_HOSPITAL

板倉病院〒273-0005 船橋市本町2-10-1
TEL:047-431-2662(代表) FAX:047-432-8578
※本誌に掲載されている内容の無断転載、転用及び複製等の行為はご遠慮ください。

🚗 駐車場20台(身体障がい者用1台含む)

🚶 京成本線京成船橋駅より徒歩5分 / JR総武線船橋駅より徒歩7分 / 東武野田線船橋駅より徒歩7分

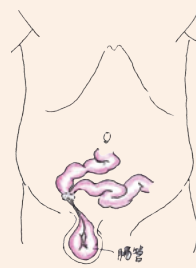
そけい 鼠径ヘルニア 外科 松野 順敬 - Matsuno Yoritaka

新入職挨拶

2024年10月より板倉病院の外科常勤医として勤務させていただいている松野順敬と申します。2008年に日本大学医学部卒業後、日本大学医学部付属板橋病院、日本大学病院、国際医療福祉大学市川病院など大学病院を中心に17年間様々な病院で勤務しておりました。その間も板倉病院には非常勤で週1回勤務しておりました。今回は鼠径部のヘルニアの診断、治療についてご紹介させていただきます。

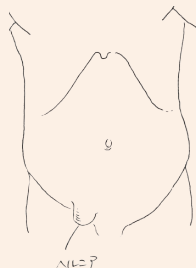


鼠径ヘルニア嵌頓



鼠径ヘルニアはどんな症状がありますか？
鼠径部の膨隆、疼痛などです。はじめは膨隆が立位のみでみられますが、ヘルニアが大きくなると寝ている状態でも膨隆してきます。腸管がヘルニア内に出て戻らない状態になると腸管が嵌頓し腸閉塞を起こすことがあります。さらに悪化すると嵌頓した腸管が壊死して緊急手術が必要になることがあります。

鼠径ヘルニア



鼠径ヘルニアとは
ヘルニアとは、体内の臓器などが、本来あるべき部位から飛び出した状態を指します。鼠径ヘルニアは腹膜や大網、腸管などの腹腔内臓器が、鼠径部の腹壁の弱い部分から皮膚の下に飛び出した状態のことで脱腸とも呼ばれます。

内鼠径ヘルニア



外鼠径ヘルニア



なぜ起きるのか、原因を教えてください
鼠径ヘルニアは外鼠径ヘルニアと内鼠径ヘルニアに分類されます。鼠径部にはお腹と外をつなぐ筒状の管（鼠径管）があり、男性では睾丸へ行く血管や精管（精子を運ぶ管）が、女性では子宮を支える靭帯が通っています。外鼠径ヘルニアは腹膜症状突起という鼠径管内の腹膜の余った部分が増え緩み広がることにより発生します。内鼠径ヘルニアは鼠径管後壁の横筋筋膜の脆弱化により発生します。



2025年を迎えて

2025年を迎えました。本年もよろしくお願いたしました。船橋市の人口は64.8万人と増加中です。高齢化率は24%と全国より低いです。高齢者人口は増加しています。超高齢化に向けて医療ニーズが多くなる中、限られた医療リソースを有効に活用することが求められます。船橋市民の健康と安全を守るためには、患者さんを中心として、多職種が協働して支える、地域包括ケアシステムの構築が不可欠です。新たな地域医療構想等に関する検討会では、2040年を見据えた病院機能として①高齢者救急等機能 ②在宅医療連携機能 ③急性期拠点機能 ④専門等機能の4分類が提示されています。当院は「在宅医療において積極的役割を担う医療機関」の認定を受けました。「屋根のない総合病院をつくる」をキーワードに地域のクリニックの先生方や訪問看護、施設などと連携した都市型地域包括ケアシステムを実現すべく①②の高齢者救急等、地域の救急を支える機能と在宅医療を支え地域の受け皿となる病院の機能を充実させていく予定です。

本年より「かかりつけ医機能報告制度」が開始されます。地域包括ケアシステムの視点で病診・診診連携が求められるとともに、報告など煩雑な業務や縛りが増えていきます。さらに、医療を取り巻く環境は非常に厳しくなっています。公定価格の医療サービスで収益をあげる医療において、光熱費など固定費の上昇や他業種との人材の取り合いなど経営面での悩みは増える一方で、地域の諸課題を皆さんと共有し、地域への思いや使命感のある仲間との連携を目指して地域医療連携推進法人「東葛南部メディカルライアンス」を立ち上げました。病院機能に応じた効率的な連携やクリニックの先生方との連携、人材教育や人材派遣、物品の共同購入など、既存の運営に干渉することなく双方のメリットを出せるような取り組みを検討していく所存です。また昨年10月に介護老人保健施設「ロータースケアセンター」の新オープンも無事に完了いたしました。「まちとつながる」をコンセプトに地域活動も積極的に行っていきます。いろいろないイベントを企画していきますので楽しみにしてください。板倉病院も「健康なうちから病院を知ってもらおう」を目標に健康相談・講演会のみならず、ごはんLABO（こども食堂）活動や、健康無関心層への働きかけを目指した地域サポーターとの交流活動、小学生の病院体験など地域に開放された活動もますます進めていきます。公式キャラクター「いたくラッコ」も登場いたしました。可愛がってください。船橋で一番歴史ある地域密着病院のプライドをもって、みなさんと共に安心して安全な船橋をめざします。本年もよろしくお願いたします。



梶原 宗弘

みんなと私たちの
連携の輪
地域連携室

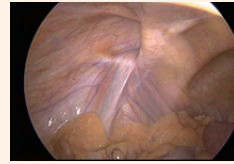
基礎疾患や社会背景など様々な状況にあるご本人とご家族に合わせた
 退院先について共に考えながら退院調整を行っています！

【事例】Uさん(73歳、女性)
 診断名:誤嚥性肺炎
 【生活状況】夫(主介護者)、息子(就労あり)との3人暮らし。介護保険未申請。
 Uさんはパーキンソン病を患い当院の外来に通院されていました。ある日、発熱をきっかけに受診され、誤嚥性肺炎の診断で入院となりました。治療後、全身状態は落ち着いたものの、パーキンソン病による嚥下機能の低下をみとめ、口から食事をとることが難しくなり胃瘻(いろう)をつくることになりました。
 Uさんは、胃瘻からの栄養剤投与以外に痰の吸引や褥瘡(じよくそ)床ずれ)の処置、おむつ交換などが必要な状態でしたが、「ご本人もご家族も自宅での生活を希望していました」
 そこで、ご家族に介護保険の申請をしてもらい、退院に向けて、医療処置の手法やおむつ交換など身体介護の方法について指導を開始しました。また、介護負担が軽減できるよう、在宅サービス(介護保険)として訪問診療と定期巡回・随時対応型訪問介護看護※1を導入することにしました。

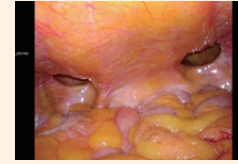


『入院された方への退院支援〜自宅退院の事例を交えて〜』
 今回は医療処置や身体介護が必要な状態で自宅退院された方のケースを紹介します。

左外鼠径ヘルニア



両側内鼠径ヘルニア

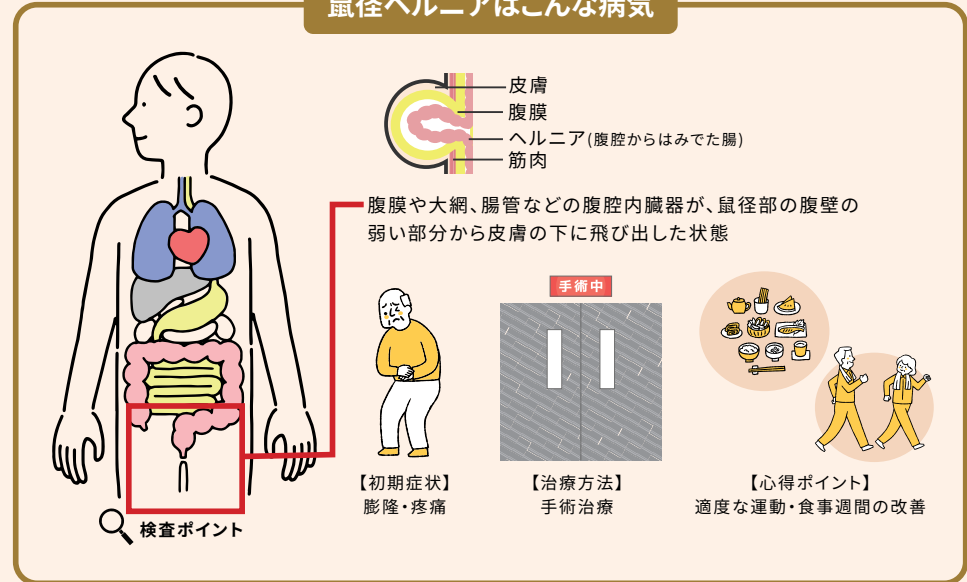


どのような治療法がありますか？
 基本的には手術治療となります。治療しない場合は70%の症例で疼痛などの症状が出現します。手術治療はヘルニア門をメッシュで被覆し臓器の脱出を抑えます。アプローチの方法はヘルニアの直上を切開する鼠径法と腹腔鏡で腹腔側からアプローチする方法があります。当院では鼠径法、腹腔鏡両方の手術に対応しており、対側のヘルニアの処置ができるため、全身麻酔が可能であれば腹腔鏡下ヘルニア修復術を第一選択にしております。



予防法があれば教えてください
 特に予防法はありません。
 ヘルニアの危険因子は肥満です。特に内臓脂肪を減らすことが重要なので、適度な運動、食事習慣の改善が重要です。
 最後に、患者さまにメッセージをお願いします
 鼠径ヘルニアは物理的な病気なので予防することは難しいですが、早期発見、早期治療にて腸閉塞や嵌頓などを防げるため、下腹部のふくらみが気になった際にはお気軽に外来受診してください。

鼠径ヘルニアはこんな病気



退院前には、ご家族や病院職員(医師、看護師、理学療法士、入退院支援看護師、今後の在宅生活を支援する事業者(ケアマネジャー、訪問診療、定期巡回・随時対応型訪問介護看護、福祉用具)が集まり、カンファレンス(会議)を行いました。
 カンファレンスでは、Uさんの現在の病状や退院後の生活についての情報を共有し、利用するサービスの内容を確認しました。「吸引の手法が難しく不安が大きい」と話されるご主人のお気持ちも共有し、退院後に訪問看護師が医療処置の手法をサポートする環境を整えることで不安を軽減できるよう努めました。
 退院後、Uさんやご家族は「相談できる人がたくさんいて安心していただける限り今の生活を続けていきたい。」と話され、今でも自宅で過ごされています。

※1定期巡回・随時対応型訪問介護看護とは、1ヶ月定額で昼夜問わず、回数制限なく訪問介護・看護サービスを受けられるものです。
 ※事例は個人情報保護の為、一部情報を変更しております。

地域連携室の連載は今回が最終回です。何かお困りなことがございましたら、お気軽にご相談ください。

こんな困りごとの解決策を私たちがご提案いたします！



- ✔ 通院が大変になってきた
- ✔ 医療費が高額で支払いが大変
- ✔ 施設へ入れるか不安
- ✔ 介護保険のサービスではどんなことをしてもらえるの？

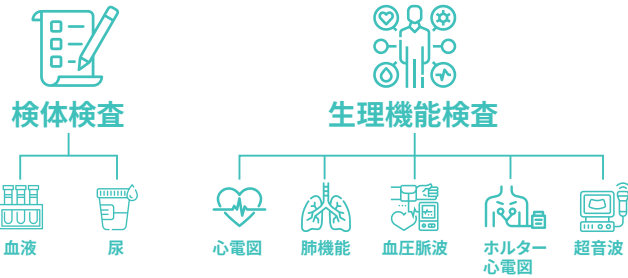
板倉病院 職場見学

職場紹介 vol.04

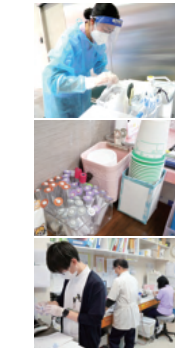
板倉病院 検査科

板倉病院で働くスタッフの仕事内容をご紹介します。
第4回目は、検査科です。医師の指示のもと、正確かつ迅速に検査を行い、そのデータを診断・治療を行う医師に提供します。

当院の検査科



板倉病院の検査科って
どんなところ？



検査科とは

検査科には臨床検査技師11名、クレーク1名、検査助手1名が在籍し、患者さまから採取した血液や尿を検査する検体検査をはじめ、心電図、肺機能検査、血圧脈波検査、ホルター心電図、超音波検査などの生理機能検査を行っています。

2024年7月に、肝機能や腎機能、脂質などを測定する生化学分析装置の更新とともに検体検査システムの更新を行い、より多くの検体を迅速に検査できるようになりました。

生理機能検査では、検査部位により予約に制限がありがちな超音波検査に関して、予約する曜日や時間帯に制限なくいつでも受けていただくことが可能です。また、検査技師によるホルター心電図解析を行っており、機械の自動解析結果と比べ、見落としが少ない、精度の高い結果を報告することができます。

地域医療に貢献すべくオンライン検査予約システム(カルナコネクト)による生理機能検査にも対応しており、近隣クリニックからの検査予約や結果返却についてもスムーズに行うことができます。



患者さまへのメッセージ

当院の臨床検査技師は精度の高い検査を行うため、研修への参加や専門の認定資格取得に挑戦するなど、検査技術の向上に取り組んでいます。

また、検査を行うだけではなく、スタッフ全員が患者さま目線で考え、待ち時間を減らすための工夫や対策のほか、きめ細かな案内を心掛けております。検査に関するの質問やご不安なことがありましたら、お気軽にお声がけください。



ITAKURA PARTNERS

板倉病院と連携している医院のご紹介！第4回目は、医療法人社団蘭寿会 佐野医院の副院長 佐野 夏帆先生



副院長 佐野 夏帆 医師

医療法人社団蘭寿会
佐野医院

内科 呼吸器科 循環器科 消化器科 小児科 腎臓内科

佐野医院の特徴を
教えてください

この医院は祖父が戦前に開業し、今は母が院長をしています。昨年からは私も勤務しており、診療科としては内科・小児科がメインです。上にはオーキッズという病児保育もあり、0歳から100歳まで診療を行っています。院長が循環器科、私は腎臓科が専門なので、ホルター心電図も可能ですし、腎機能の悪い方や尿所見のある方も専門的に診ることが出来ます。専門も含め、家庭医として幅広く全身を診せてもらいたいと思っております。

診療で心掛けていることはありますか？

患者さまそれぞれの背景であったり基礎疾患、近所の流行状況を含めて考えながら治療法を選択するようにしています。例えば同じ風邪でも、患者さまによって背景や基礎疾患が違うので、その方のバックグラウンドまで考えた治療をしたかと思っています。

休日のリフレッシュ方法を教えてください

子供が4人いるので、今は自分の趣味をもつ時間があります。が、週末子供を習い事に送った後、1人でゆっくりカフェで待つ時間はすごくリフレッシュになります。あとは家族で旅行に行くのが楽しみです。

最後に地域の方へメッセージをお願いします

私も船橋で育っているのですが、昔から知っている方も患者さまとして来てくれたり、祖父の時代から家族で通院して下さっている方に「三代に渡って診てもらえたことがあります。



昔から地域に根付いていらっしゃる方を、継続して診させてもらえることを嬉しく思っています。同時に、マンションもどんどん増え、新しい住民の方や外国の方も多い地域なので幅広い方に通ってもらえる医院にしていきたいです。東アジアで5年ほど診療をしていたこともあるので、英語での診療が可能なことと、アジアの方の状況を把握している部分もあるため、そういう点を活かしていけたらと思っています。また現院長から継承する移行期ですが、近隣のクリニックや病院とも協力して地域医療に貢献していきたいと考えています。



【住所】〒273-0005 千葉県船橋市本町3丁目3-7

【電話】047-422-2278

【診療科目】内科・呼吸器科・循環器科・消化器科・小児科・腎臓内科

診療時間に関する詳細は、QRコードをご確認ください。



旧 ロータスケアセンター
長い間ありがとう!

新 ロータスケアセンター
これからよろしくね!

板倉病院
公式キャラクター
いたくらく



ロータスケアセンター
公式キャラクター
ロータン

ロータスケアセンター解体祭

10月26日 / 10月27日

2024年10月26日、27日 医療法人弘仁会・株式会社都市テクノ・病院マーケティングサミットJAPAN・

武蔵野美術大学・東京大学と共同で、解体前の旧ロータスケアセンターにて

『ロータスケアセンター解体祭～まちと繋がる「はじまりの物語」～』を開催しました。

これまでお世話になった建物への感謝や、より地域に根ざした老健施設となる第一歩として、まちの方々と共に「ロータスケアセンターの新たな幕開け」を祝う2日間をコンセプトに企画し、800名以上の方にご来場いただきました。

解体祭当日は、らくがき企画、施設の歩みを振り返る年表展示、介護相談ブース、ロータス盆踊りの4年ぶりの復活や、船橋ならではの「食」「アート」「スポーツ」を楽しめる企画を準備しました!

旧施設内の壁にお絵描きをしたり、お腹がすいたら屋台やキッチンカーでお食事をしたりと大盛り上がりだった2日間!!解体祭の様子をぜひご覧ください。

健康体操
ロータスケアセンタースタッフによる健康体操や、板倉病院合唱団のクローバーフィルハーモニーのステージ、地域のフラダンス教室などの発表で会場全体が明るくなりました。



都市テクノ様による、工事内容や解体時にできる廃材の再利用についての解説ブース、3Dスキャンデータを使用した展示や実際に重機に乗る体験ができる実物シヨベルカーフォトスポットを設置! 楽しみながら学び、解体を都市再生の架け橋としてポジティブに変換できる展示を行いました。



『みんなで作る年表』では来場者の歩みを吹き出しに書いてもらい、みんなで年表を作り上げました。



毎年開催していたロータス盆踊りが
コロナ禍を経て4年ぶりに復活!!

ヨーヨー釣り、ストラックアウト、コリント、ぶくぶくすくい、くじ引き、輪投げを出店! 遊んでお腹がすいたら焼きそば、たこ焼き、フランクフルト、あげ餅、綿あめ... 色々なお祭り屋台飯を販売!

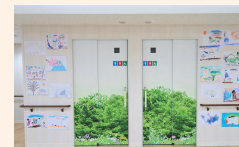


地域のスポーツチームとのコラボスペースでは身体を動かして楽しむ姿がみられました!



地域デザインカンファレンス

若杉浩一先生、竹田隆介先生、横原崇弘理事長が「人と地域の未来を育む病院の在り方」についてお話しくださいました。

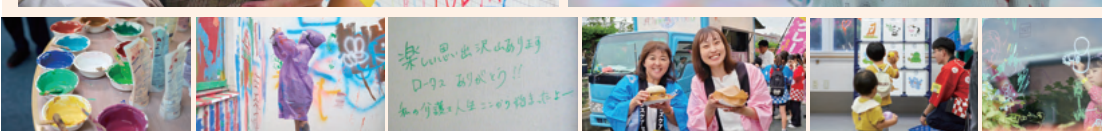


新施設では、船橋のミライを想像し、まちの方々が描いた絵を美術館として展示しました。

旧施設内だけでなく、新施設の1Fフロアもお披露目! 旧施設と新施設の違いを確認していただきました。



2日目はキッチンカー・出店台数が5店舗以上! 美味しい食べ物がたくさん並び大盛況でした!



弘仁会インフォメーション

弘仁会でされているイベントやお知らせの最新情報をお届けします。



子ども食堂 いたくらはん LABO

当院の中・長期ビジョンの一つとして、究極の地域医療「病院が地域をつくり、地域が病院をつくる」を掲げています。その一環として、数年前から社会問題となっている『ひとり親世帯の貧困や孤食』に少しでも役立ちたいと、2019年9月から子ども食堂『いたくらはんLABO』を始めています！

開催情報

場所 板倉病院 6階コンファレンスホール
日時 第3土曜日 12:30～なくなり次第終了
費用 中学生まで無料
子ども同伴者 300円、大人 500円

12/21
menu

12月のメニューは、ピラフ、ミートボール、フライドポテト、オニオンスープ、イチゴパフェでした。65人の方に利用して頂きました！次回開催は1月18日(土)を予定しています。



■食材提供

【日本ビューアフード様】お肉
【櫻井青果様】お野菜
【政府備蓄米無償交付】お米
【NPO 法人フードバンクふなばし様】お菓子
【篠原欣子記念財団】フルーツ支援 / イチゴ
ご協力してくださった皆さまありがとうございます。

ボランティア募集中!

子ども食堂のボランティアスタッフを募集しています。

お問い合わせ
047-431-2662 (代表)



病院ゆるキャラ総選挙2024 当院の『いたくらか』が 決勝戦に出場しました！

病院マーケティングサミットJAPAN2024in熊本『病院ゆるキャラ総選挙2024』の決勝戦に進出し、『地域医療 × 板倉病院～いたくらかの使命！～』のタイトルでいたくらかが生まれた背景や、これまでの活動実績を発表しました。惜しくも優勝は逃がしてしまいましたが、沢山の病院キャラクターのお友達ができました！これからも地域に貢献できるよう頑張ります！応援してくださいましたみなさま、ありがとうございました。

たくさんの応援
ありがとうございました！



病院マーケティングサミットJAPAN2024in熊本
『病院ゆるキャラ総選挙2024』でできた沢山の友達▼



病院前救護所設置・運営訓練のご報告

当院では、毎年、病院前救護所設置・運営訓練を行っています。本年は、船橋市の総合防災訓練の一環として船橋市職員と合同で、《市内で最大震度6弱以上の大地震が発生し、軽症者から重傷者まで多数の市民が来院する》ことを想定した訓練を行いました。今回の訓練では、クロス・ウェーブ船橋(近隣施設)に軽症者治療エリアを設置し、より実践に即した訓練を行うことができました。ご参加いただきました、本町1丁目町会の皆さま、近隣のクリニック・接骨院の先生方、クロス・ウェーブ船橋さま、クオール薬局さま、ありがとうございました。



病院前救護所設置・運営訓練の様子

最大震度6弱以上の大地震が
発生したと想定



市内で最大震度6弱以上の大地震が発生し、軽症者から重傷者まで多数の市民が来院することを想定しました。



トリアージポストでは災害時など多数の負傷者が発生した場合に、傷の緊急度や重傷度を判定して、治療や高次医療機関への搬送の優先順を決めます。緑色は治療エリア(軽症者)、黄色エリアは中等症者、赤エリアは重症者の振り分けとなります。

